

# 「観光に関するアンケート調査」

## 結果報告書

～観光地（東大寺）での調査～

2020年2月

奈良商工会議所

## 調査の概要

### 1. 調査内容

実際に奈良を訪れた国内外の観光客が、奈良観光や奈良の宿泊施設に対してどのようなイメージを持たれているのかを調査し、奈良の観光地や宿泊施設の整備・販促活動に活かすヒントを探る目的で、東大寺前で外国人観光客および日本人観光客に対して調査を実施した。

### 2. 調査方法

東大寺を訪れた国内外の観光客へアンケート調査票をもとに、インタビュー形式での聞き取りを行った。

### 3. 調査の時期・回収サンプル数

2019年12月に実施し、外国人観光客から50件、日本人観光客から50件を回収した。

## 回答者の属性

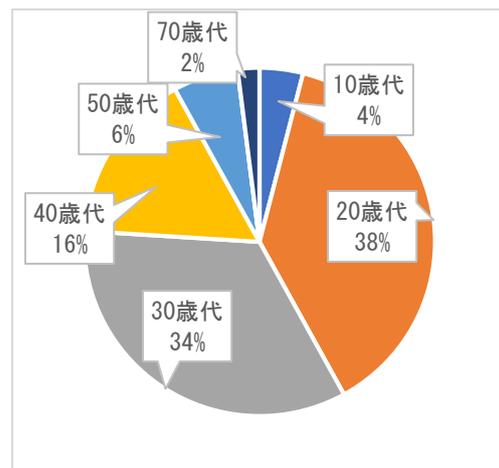
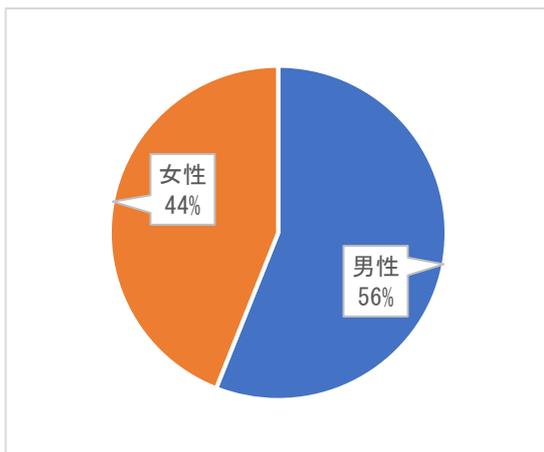
### I. 外国人観光客

#### 1. 性別

「男性」(56%)の割合が「女性」(44%)に比べて高い。

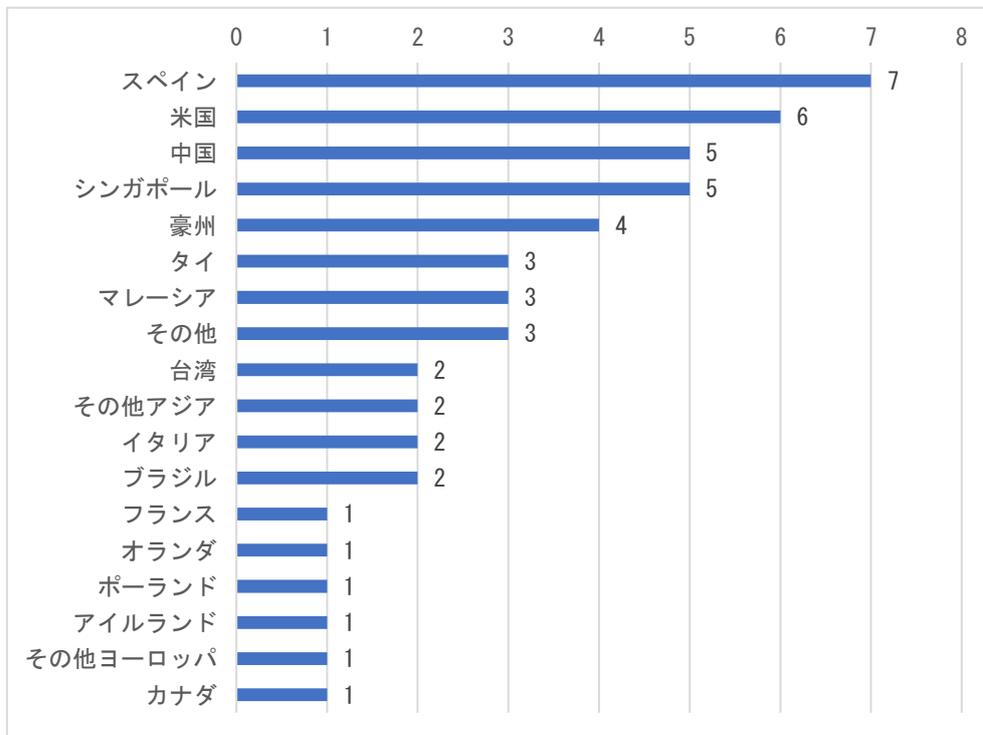
#### 2. 年代別

「20歳代」(38%)、「30歳代」(34%)が多く、「40歳代」(16%)、「50歳代」(6%)、「10歳代」(4%)と続いている。外国人観光客には比較的若い人が多い。



### 3. 出身地

外国人観光客の出身地上位5地域は、スペイン（7人）、アメリカ（6人）、中国（5人）、シンガポール（5人）、オーストラリア（4人）であった。



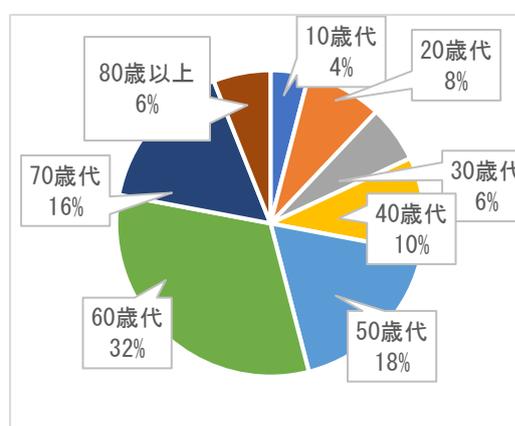
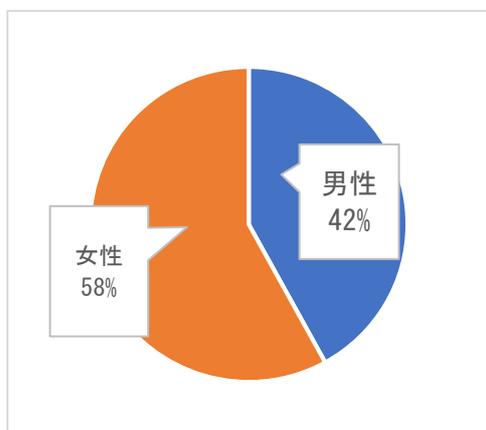
## II. 日本人観光客

### 1. 性別

「女性」（58%）の割合が「男性」（42%）に比べて高い。

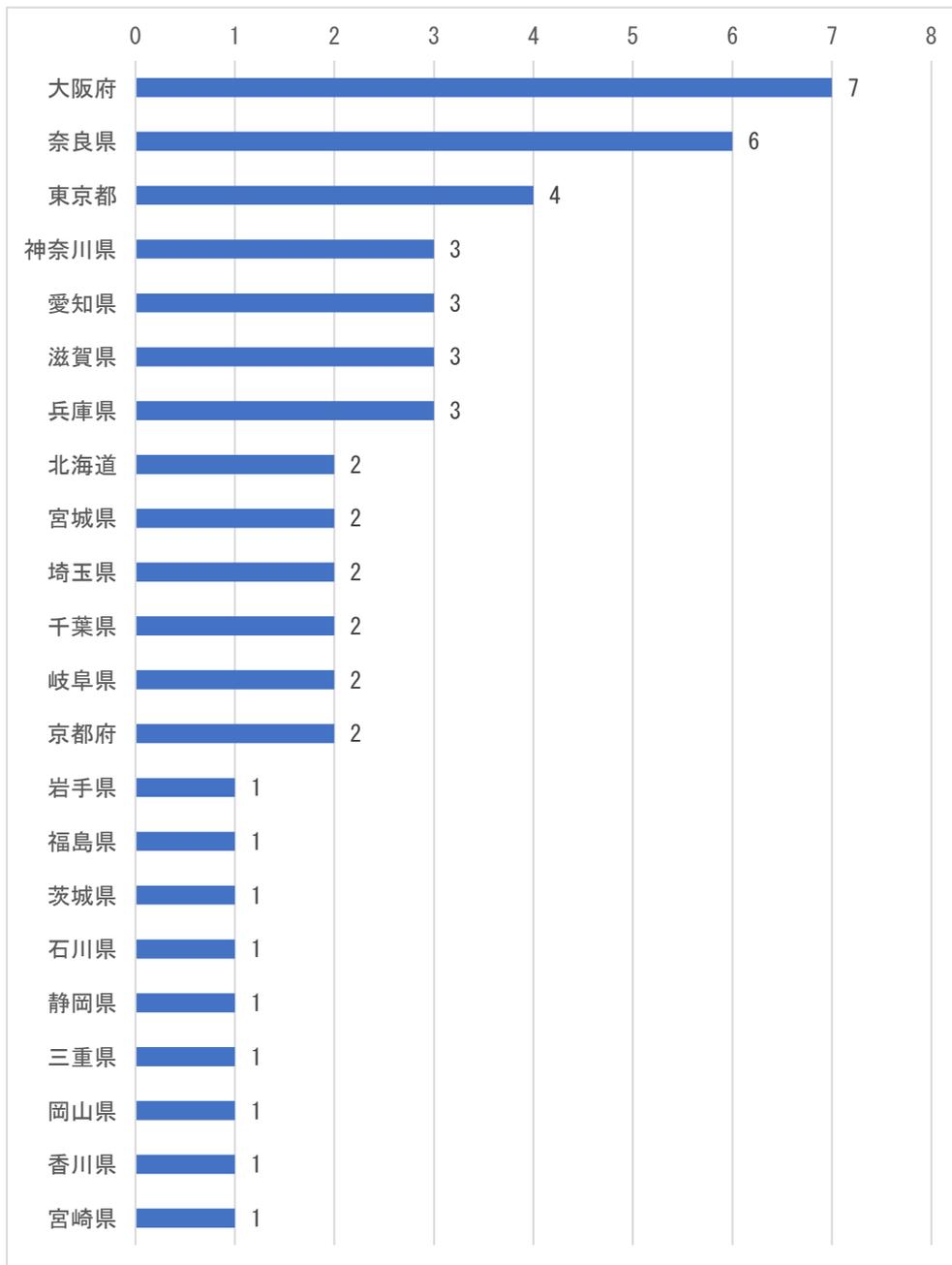
### 2. 年代別

「60歳代」（32%）が多く、「50歳代」（18%）、「70歳代」（16%）、「40歳代」（10%）と続いている。日本人観光客には中高年齢者が多い。



### 3. 住まい

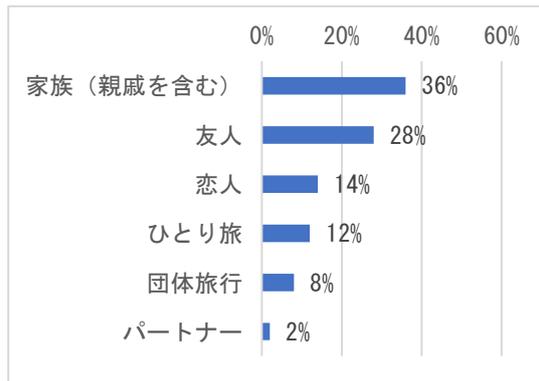
日本人観光客の住まいの上位7都道府県は、大阪府（7件）、奈良県（6件）、東京都（4件）、神奈川県（3件）、愛知県（3件）、滋賀県（3件）、兵庫県（3件）であった。



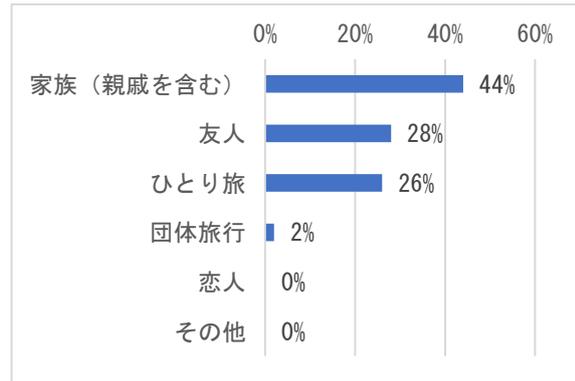
## 旅行一般に関する調査結果

### 1. 普段旅行する際、最も多い同行者

外国人観光客の場合は、「家族（親族を含む）」（36%）、「友人」（28%）、「恋人」（14%）の順であった。一方、日本人観光客の場合は、「家族（親族を含む）」（44%）、「友人」（28%）、「ひとり旅」（26%）の順であった。外国人観光客、日本人観光客ともに、家族や友人が多いことがわかる。



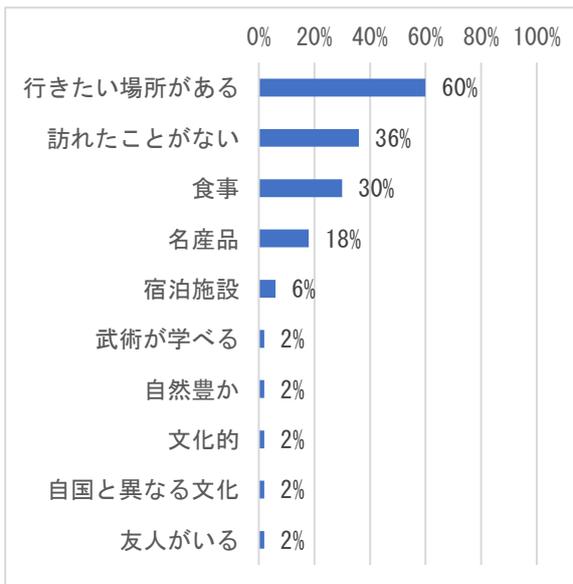
外国人観光客



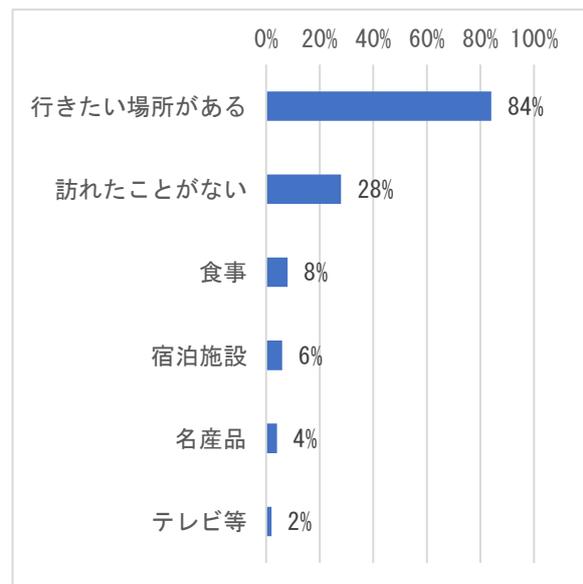
日本人観光客

### 2. 旅先を決定する時のポイント（複数回答）

外国人観光客の場合は、「行きたい場所がある」（60%）、「訪れたことがない」（36%）、「食事」（30%）の順であった。一方、日本人観光客の場合は、「行きたい場所がある」（84%）、「訪れたことがない」（28%）、「食事」（8%）の順であった。外国人観光客、日本人観光客ともに、目的を持って旅行する人が多いことがわかる。



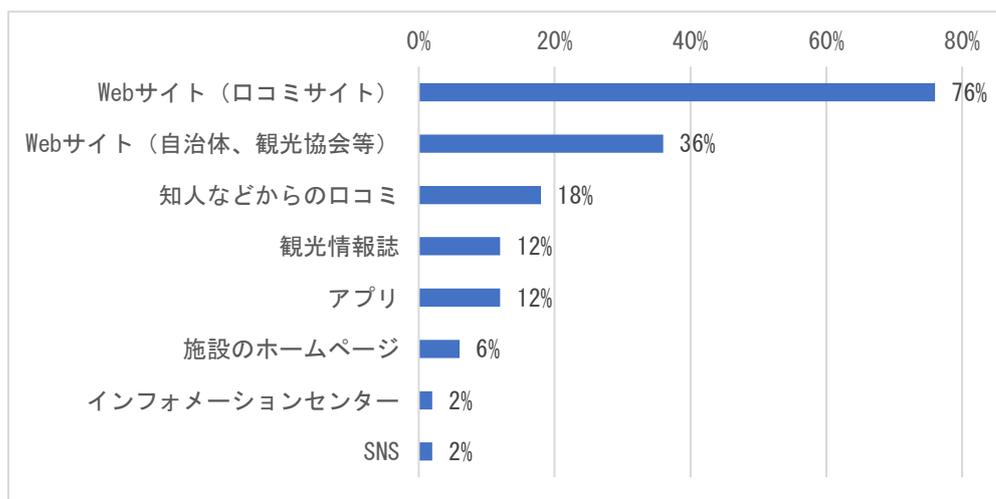
外国人観光客



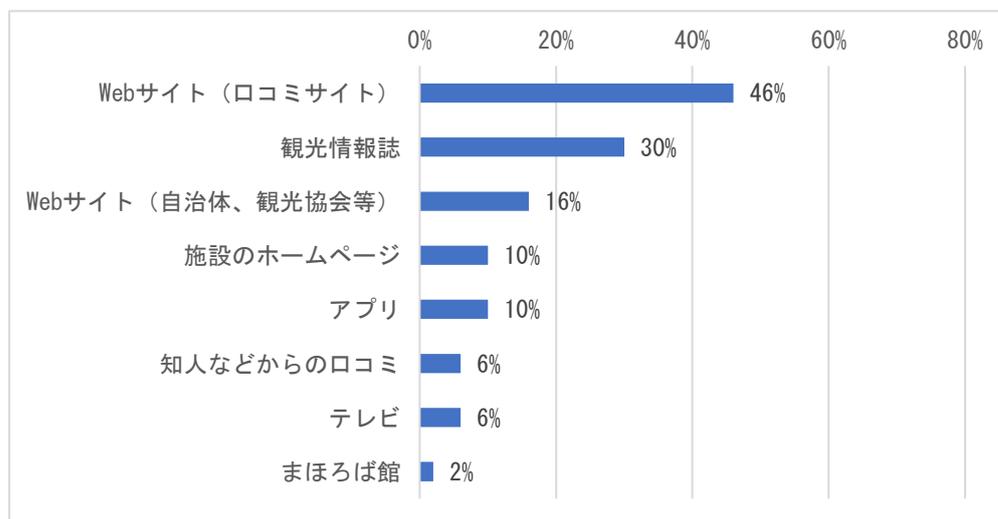
日本人観光客

### 3. 観光情報の入手元（複数回答）

外国人観光客の場合は、「Webサイト（口コミサイト）」（76%）、「Webサイト（自治体、観光協会等）」（36%）、「知人などからの口コミ」（18%）の順であった。一方、日本人観光客の場合は、「Webサイト（口コミサイト）」（46%）、「観光情報誌」（30%）、「Webサイト（自治体、観光協会等）」（16%）の順であった。外国人、日本人ともにネットからの情報収集が多く、複数の情報源を見比べていることがわかる。



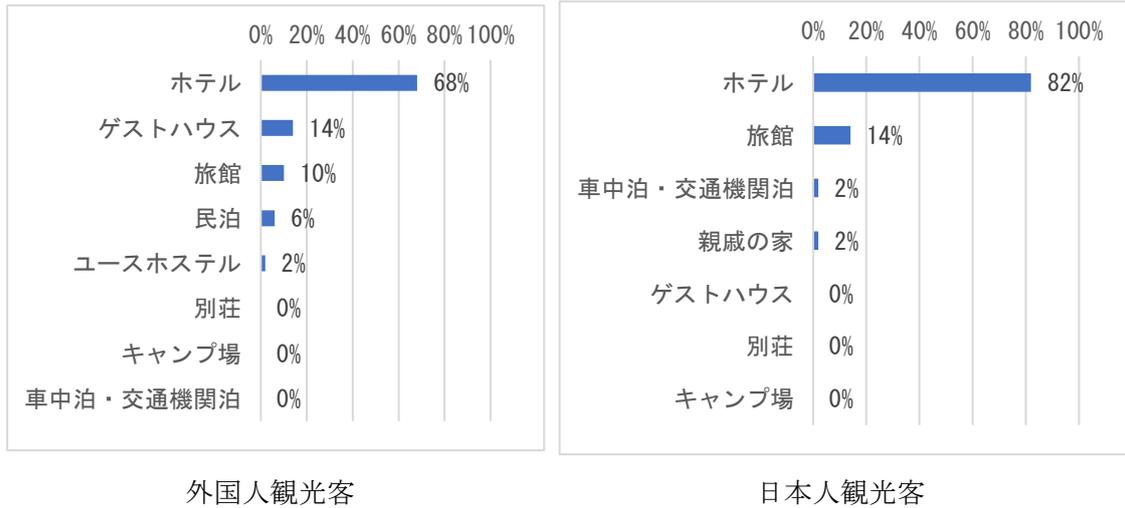
外国人観光客



日本人観光客

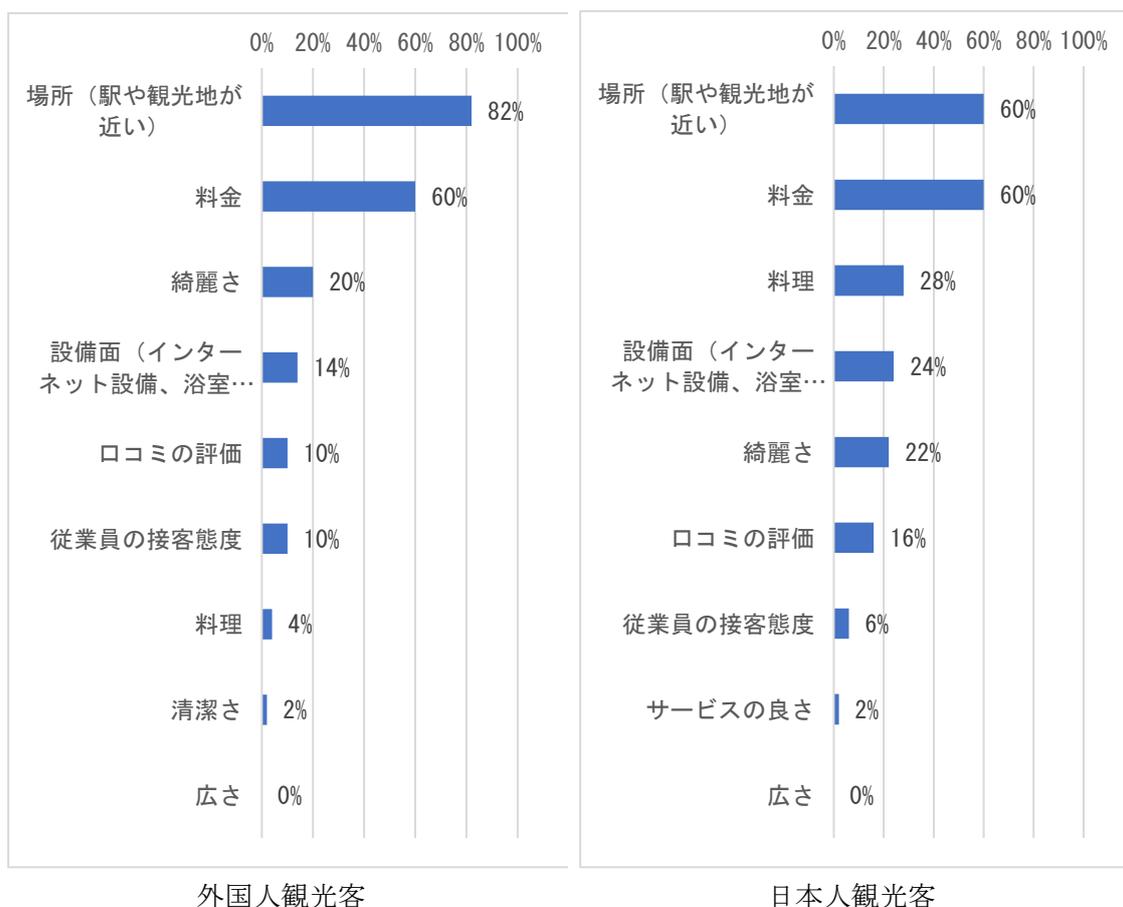
#### 4. 選択する宿泊施設の種類

外国人観光客の場合は、「ホテル」(68%)、「ゲストハウス」(14%)、「旅館」(10%)、「民泊」(6%)の順であった。一方、日本人観光客の場合は、「ホテル」(82%)、「旅館」(14%)、「車中泊・交通機関泊」(2%)、「親戚の家」(2%)の順であった。ともにホテル泊が多いが、外国人観光客の方が日本人観光客に比べて、宿泊先に多様性があることがわかる。



## 5. 宿泊先を選ぶ時に重視する点（複数回答）

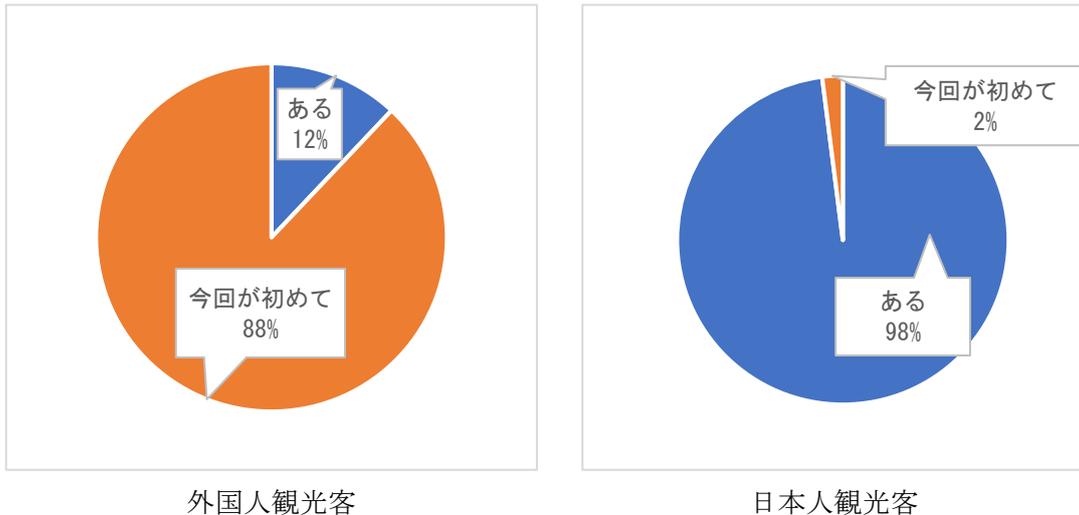
上位4項目は、外国人観光客の場合、「場所（駅や観光地が近い）」（82%）、「料金」（60%）、「綺麗さ」（20%）、「設備（インターネット設備、浴室等）」（14%）であった。日本人観光客の場合、「場所（駅や観光地が近い）」（60%）、「料金」（60%）、「料理」（28%）、設備（インターネット設備、浴室等）」（24%）であった。外国人観光客、日本人観光客ともに場所と料金を中心に選択していることがわかる。ただ、この2つは宿泊施設にとって変更が困難なことから、料理、設備、綺麗さ、接客態度などで差別化を図ることが重要と思われる。



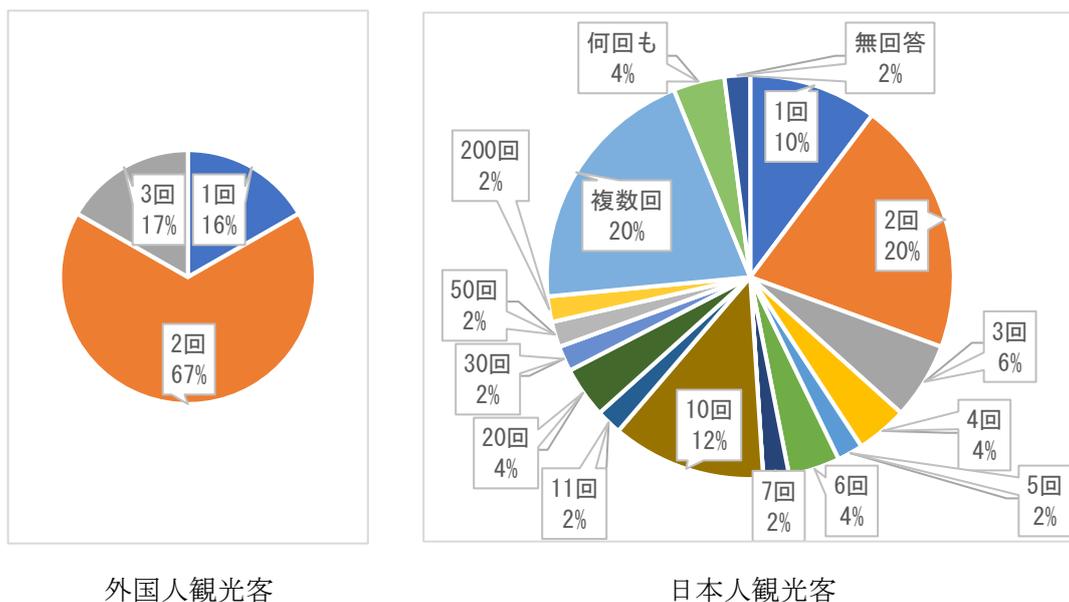
## 奈良観光に関する調査結果

### 1. 奈良を訪れた経験

奈良を訪れたことがあるかを尋ねたところ、外国人観光客の場合は、「今回が初めて」(88%)、「ある」(12%)であった。一方、日本人観光客の場合は、「ある」(98%)、「今回が初めて」(2%)であった。外国人観光客へは一層の情報発信が必要である。

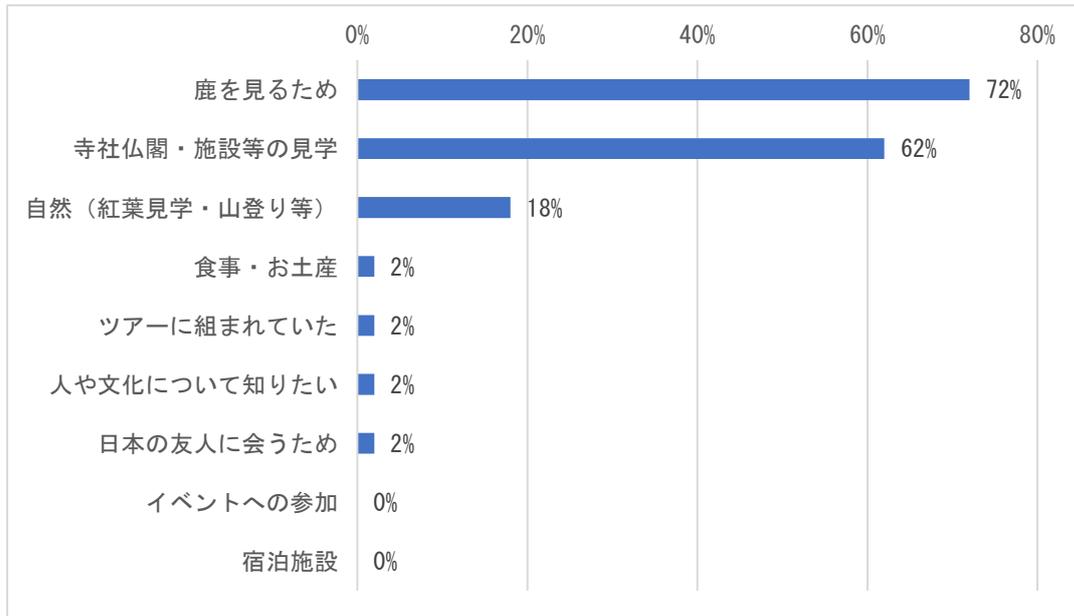


また、過去に奈良を訪れた回数を尋ねたところ、外国人観光客の場合は、「2回」が4人、「1回」が1人、「3回」が1人であった。一方、日本人観光客の場合は、「2回」(20%)、「複数回」(20%)、「10回」(12%)の順で、多くの人が何度も訪れていることがわかる。

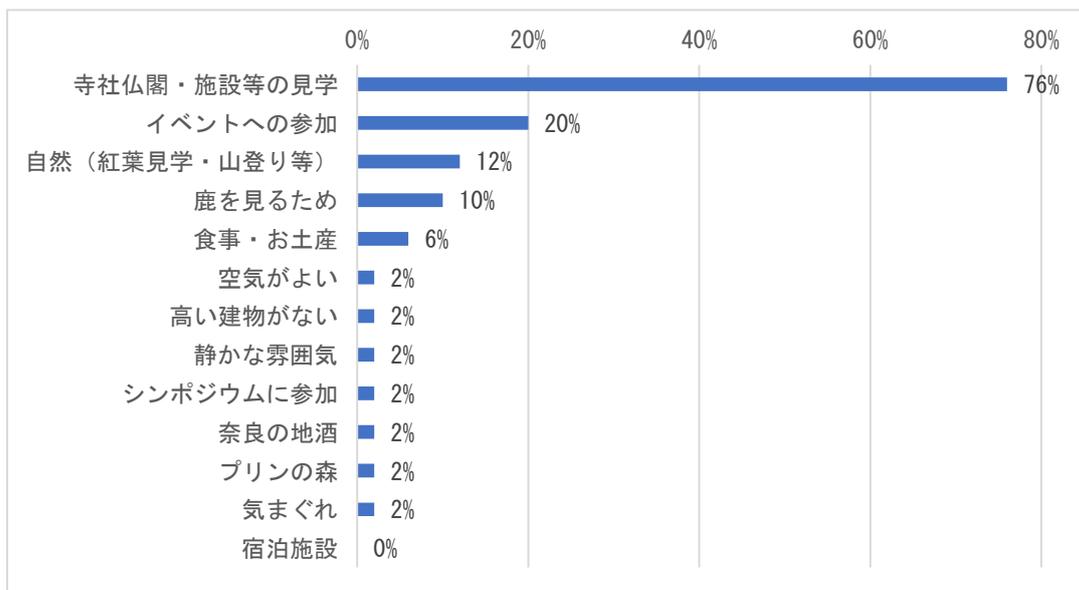


## 2. 今回、奈良を訪れた理由（複数回答）

外国人観光客の場合は、「鹿を見るため」（72%）、「寺社仏閣・施設等の見学」（62%）、「自然（紅葉見学・山登り等）」（18%）の順であった。一方、日本人観光客の場合は、「寺社仏閣・施設等の見学」（76%）、「イベントへの参加」（20%）、「自然（紅葉見学・山登り等）」（12%）、「鹿を見るため」（10%）の順であった。外国人観光客は、鹿とのふれあいに魅力を感じており、日本人観光客は、寺社仏閣の見学を目的として何度も訪れている様子が見えてくる。



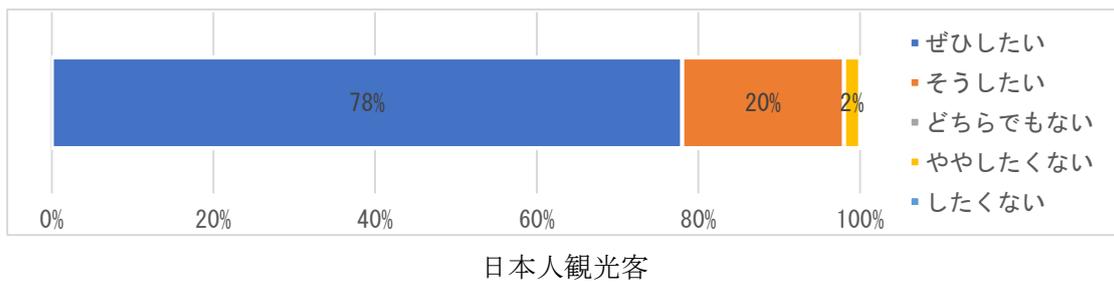
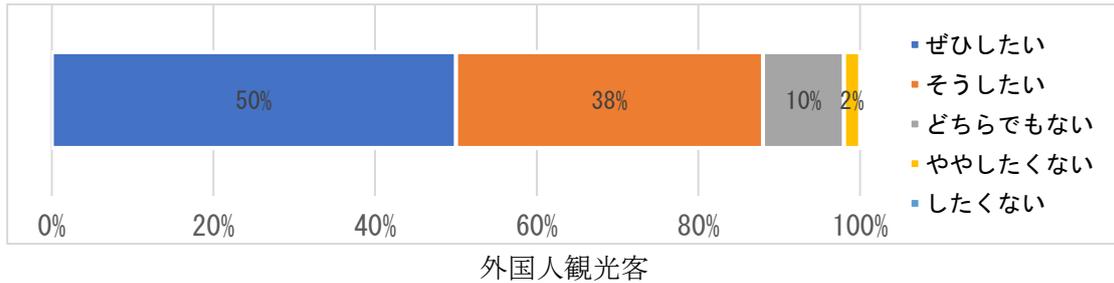
外国人観光客



日本人観光客

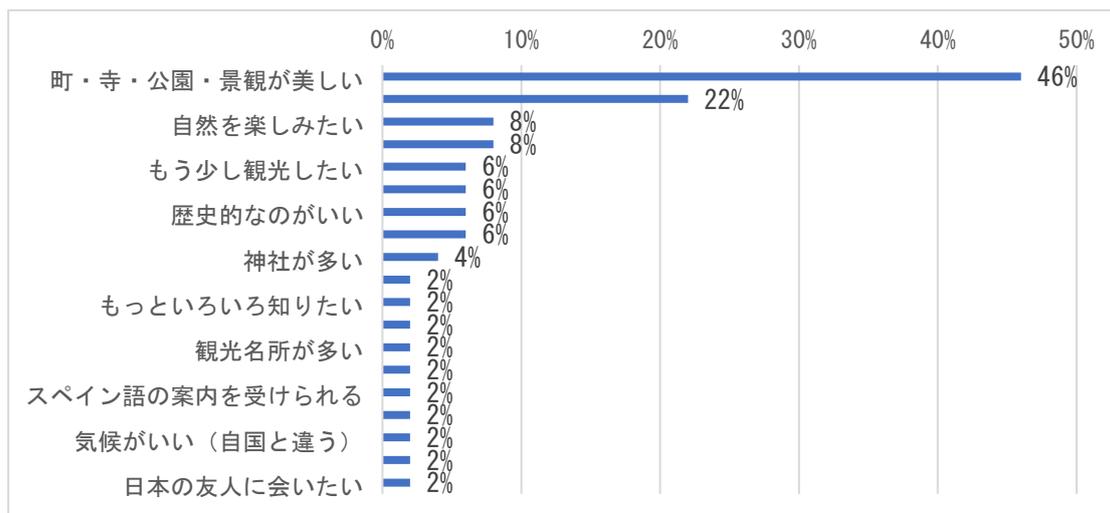
### 3. 奈良への再訪意欲

奈良へ再訪したいかどうか尋ねたところ、外国人観光客の場合は、「ぜひそうしたい」(50%)、「そうしたい」(38%)、「どちらでもない」(10%)、「ややしたくない」(2%)であった。日本人観光客の場合は、「ぜひそうしたい」(78%)、「そうしたい」(20%)、「どちらでもない」(0%)、「ややしたくない」(2%)であった。再訪意欲は日本人の方が高いことがわかる。

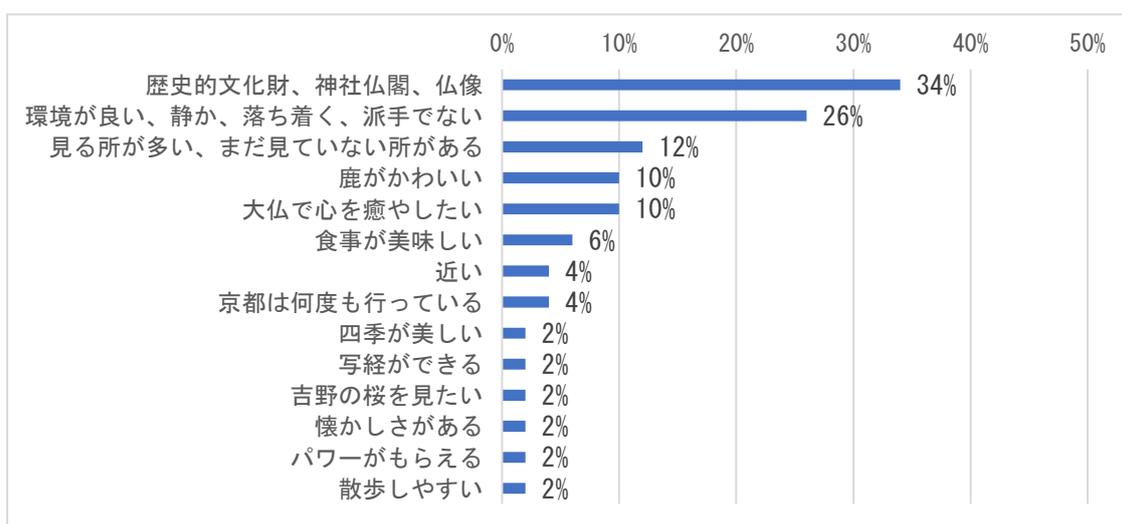


#### 4. 奈良を再訪したい理由（複数回答）

奈良を再訪したい理由を尋ねたところ、外国人観光客の場合は、「町・寺・公園・景観が美しい」（46%）、「鹿と触れあえる」（22%）、「自然を楽しみたい」（8%）、「古いのに綺麗・保存状態がよい」（8%）の順であった。日本人観光客の場合は、「歴史的文化財、神社仏閣、仏像」（34%）、「環境が良い、静か、落ち着く、派手でない」（26%）、「見る所が多い、まだ見ていない所がある」（12%）の順であった。外国人観光客は美しさに、日本人観光客は美しさに加えて、歴史的文化財への関心が高いことがわかる。



外国人観光客

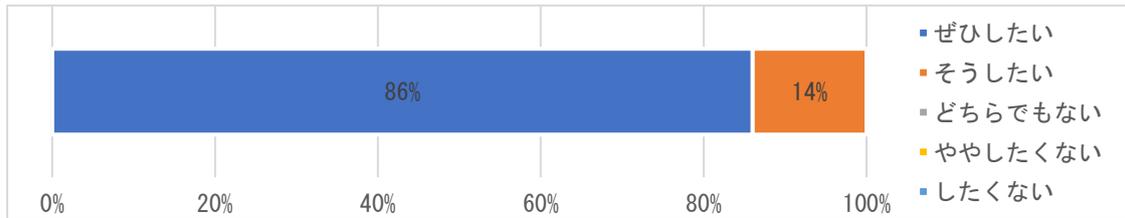


日本人観光客

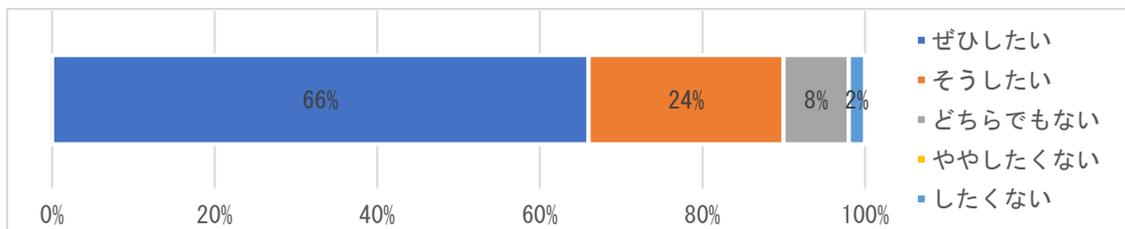
ただ、「再訪したくない」と答えた外国人観光客の中に、「歴史がわからない」という理由を上げた人がいた。いろんな媒体を使って、外国人にとってよりわかりやすく歴史を説明する工夫をすることで、奈良により興味を持っていただける可能性がある。

#### 4. ロコミ意欲

さらに、奈良観光を家族や友人に勧めたいかどうか尋ねたところ、外国人観光客の場合は、「ぜひそうしたい」(86%)、「そうしたい」(14%)であった。日本人観光客の場合は、「ぜひそうしたい」(66%)、「そうしたい」(24%)、「どちらでもない」(8%)、「したくない」(2%)であった。ロコミ意欲は外国人の方が日本人を上まわっている。



外国人観光客

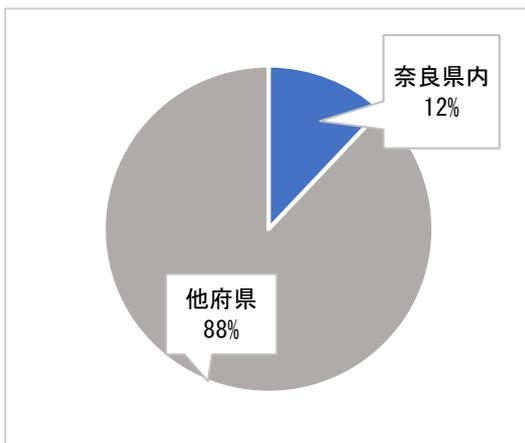


日本人観光客

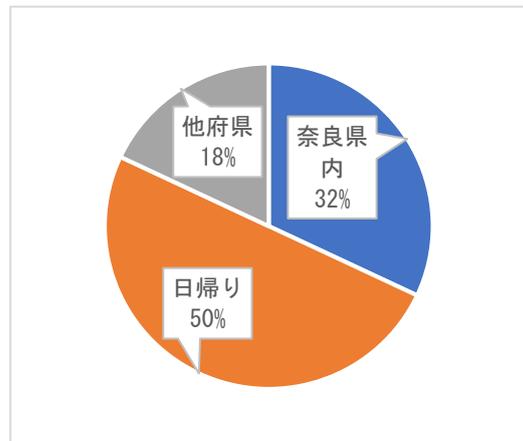
### 宿泊に関する調査結果

#### 1. 今回の旅行で宿泊する場所

外国人観光客の場合は、「奈良県内」(12%)、「他府県」(88%)であった。一方、日本人観光客の場合は、「奈良県内」(32%)、「日帰り」(50%)、「他府県」(18%)であった。外国人観光客には「他府県」、日本人観光客には「日帰り」が目立つ。



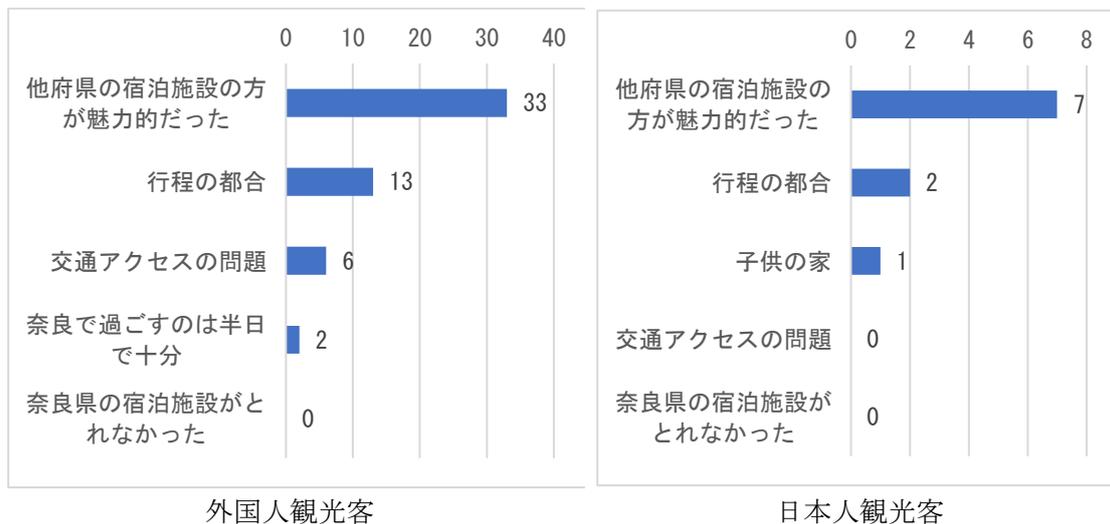
外国人観光客



日本人観光客

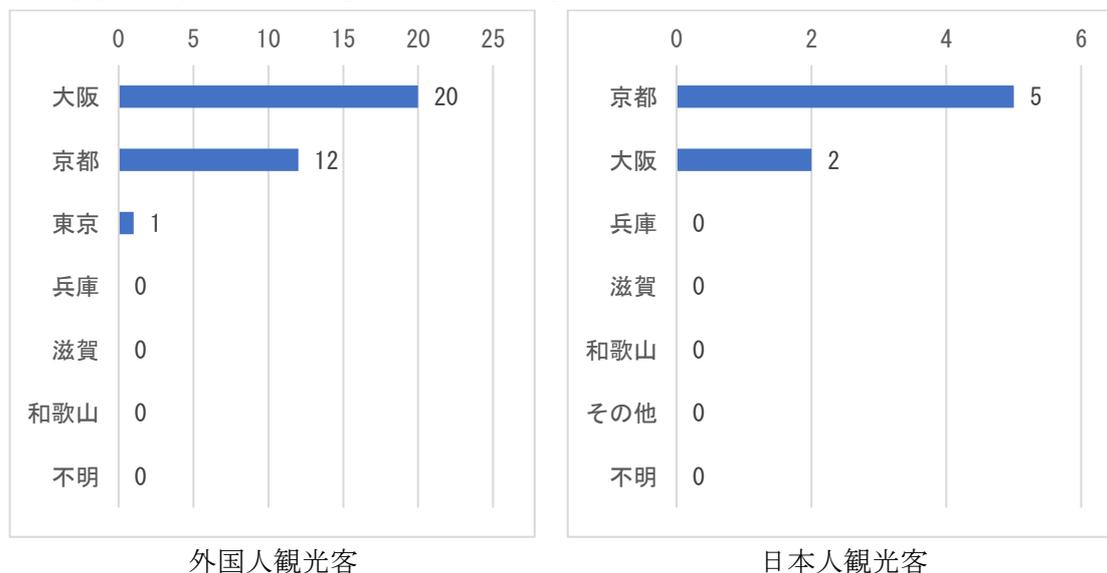
## 2. 他府県で宿泊する理由

外国人観光客の場合は、「他府県の宿泊施設の方が魅力的だった」(33人)、「行程の都合」(13人)、「交通アクセスの問題」(6人)の順であった。日本人観光客の場合は、「他府県の宿泊施設の方が魅力的だった」(7人)、「行程の都合」(2人)、「子供の家」(1人)の順であった。奈良県の宿泊施設の魅力を高める工夫が必要である。



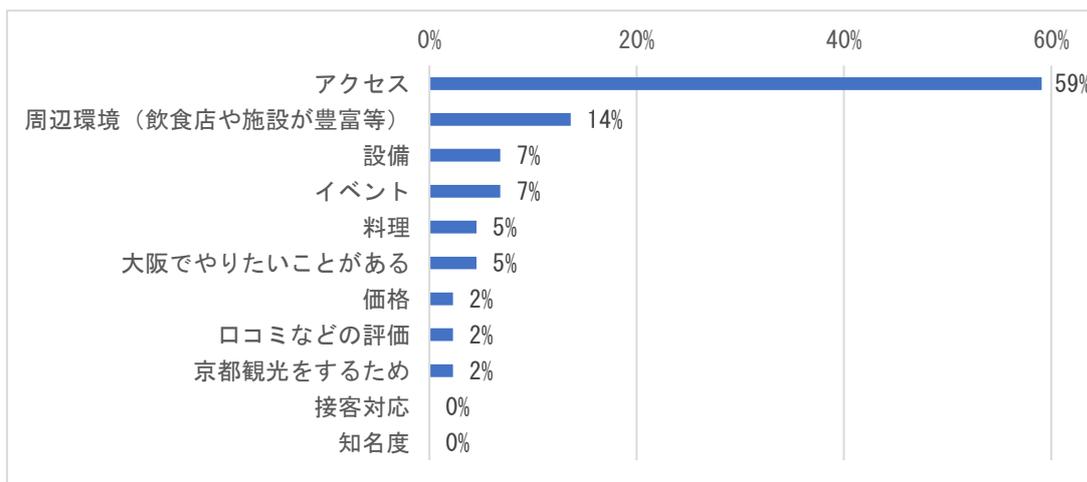
## 2. 他府県での宿泊場所

外国人観光客の場合は、「大阪」(20人)、「京都」(12人)、「東京」(1人)であった。日本人観光客の場合は、「京都」(5人)、「大阪」(2人)であった。

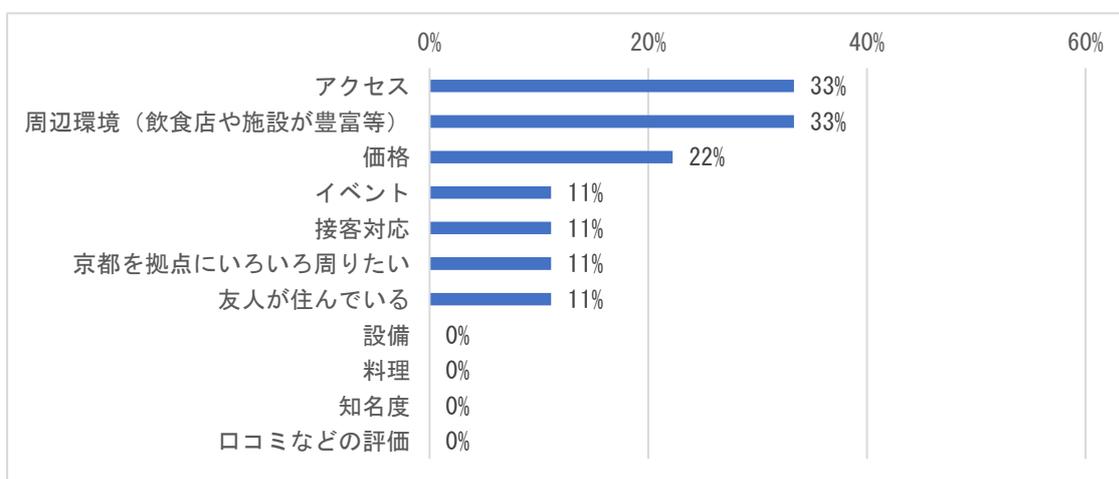


## 2. 他府県が魅力的な理由（複数回答）

「他府県に宿泊する」と答えた人の中での割合を見ると、外国人観光客（44人）の場合は、「アクセス」（59%）、「周辺環境（飲食店や施設が豊富等）」（14%）であった。日本人観光客（9人）の場合は、「アクセス」（33%）、「周辺環境（飲食店や施設が豊富等）」（33%）であった。



外国人観光客



日本人観光客

## **総括**

### **1. 旅行一般に関する調査**

旅行する際、外国人観光客、日本人観光客とも、目的を持って旅行先を探す人が多く、その情報源はWebサイトの割合が大きい。場所の魅力や料金を吟味しながら選んでいる様子がうかがえる。Webサイトで奈良の魅力をしっかり情報発信することの重要性が改めて浮き彫りになった。

### **2. 奈良観光に関する調査**

外国人観光客、日本人観光客とも、奈良への再訪意欲は高く、多くの旅行者が奈良に対して魅力を感じている。町並みの美しさ、歴史的文化財、鹿などに魅力を感じている様子がうかがえる。保存が行き届いていることにも評価が高い。こうした魅力を守り続けることが奈良観光にとって欠かせない取り組みとなる。

### **3. 宿泊に関する調査**

外国人観光客には、他府県に宿泊する人が多いこと、日本人観光客には、日帰りする人が多いことが、奈良観光にとっての課題であることを再認識する結果となった。大阪や京都に対して、アクセスや周辺環境（飲食店や施設が豊富等）において劣っているとの評価であり、改善策の検討が必要である。